

# 気軽に始める 和文化入門

その①

# 風呂敷

言葉としては知っていても、詳しくは知らない日本の伝統文化が結構あるものです。ここでは、誰でも気軽に始められる和文化を紹介していきます。今回のテーマは、風呂敷。近年、エコアイテムとして再注目されている風呂敷の、便利でおしゃれな使い方を紹介しましょう。

## なぜ「風呂敷」と呼ばれる？

1枚の布でどんな形の物も包め、何度も繰り返し使える風呂敷。その起源は定かではありませんが、奈良時代に建てられた正倉院には、所蔵品が収納専用の布で包まれており、これが現存する最古の風呂敷とされています。こうした包み布は、平安時代には「ころもつつみ」、室町時代には「ひらつつみ」と呼ばれました。

包み布が「風呂敷」と呼ばれるようになったのは江戸時代。もともと日本の古来の風呂は蒸し風呂で、座る板場に布を敷いたり、布の上で着替えたりしていました。徳川家康の形見分けの記録『駿府御

分物御道具帳（むけものおとうぐちょう）は、初めて「風呂敷」という言葉を見ることができる文献ですが、ここに記されている「風呂敷」とは文字通り、風呂の敷物のこと。これが徳川の御代が安泰し、一般庶民も銭湯（湯を張った風呂）に通うようになると、湯道具や着替えを包む風呂敷のような布を「風呂敷包み」と呼ぶようになりま

す。そして、次第に包み布全般を風呂敷と呼ぶようになったと考えられています。抜き、今でいう包装紙のように利用されたり、婚礼道具として使われるようになりました。明治に入り洋風化が進んでもそれは変わりませんでした。昭和の高度経済成長期、紙袋やレジ袋の登場により姿を消してしまいます。しかし近年、環境への関心の高まりにより、何度も使える風呂敷のよさが見直され始めています。

## 大量消費時代に姿を消すも再び登場

江戸時代以降、急速に普及した風呂敷は、物をもち運ぶための道具としてだけでなく、屋号を染め

## 用途に合わせてサイズ、素材選びを

風呂敷の大きさは横の長さ「幅（はらば）」で表します。1幅は約36cmで、基本となるサイズは、中幅（約45cm）から七幅（約230cm）まで10種類。菓子折や一升瓶

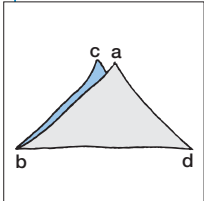


# 風呂敷バッグに挑戦!

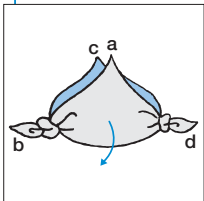
## しずく型バッグ



しずくのような形のショルダーバッグ。一つ結びを長めにすれば、袋が深くなります。



①風呂敷の表面を上にして広げ、aとcを合わせて三角に折る。



②bとdをそれぞれ一つ結びにしたなら、表面が外側になるよう裏返す。

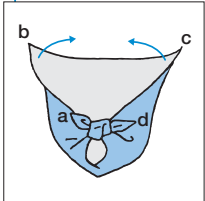


③結び目を内側に入れ、aとcを真結びすれば完成。

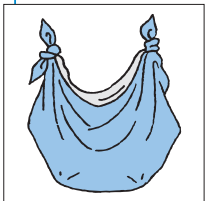
## ショッピングバッグ



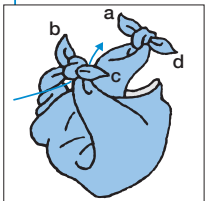
スーパーのレジ袋と同じように、持ち手が二つある簡単ショッピングバッグです。



①風呂敷の裏面を上にして広げ、aとd、bとcをそれぞれ真結びする。

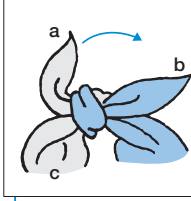


②二つの結び目を持ち手にすれば簡単ショッピングバッグの完成。

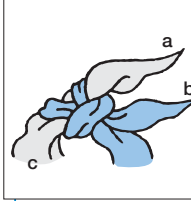


<アレンジ>  
bとcの結び目の下に、aとdの結び目を通して、持ち手を一つにすれば「すいか包み」と呼ばれる包み方に。

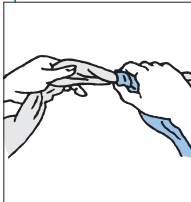
## 真結びの解き方



①左手でc、右手でaを持ち、左右に引っ張る。

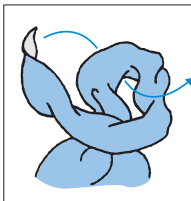


②aとcが一直線になるようにグッと引っ張る。



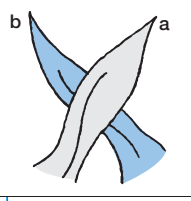
③右手で結び目を上から軽く持ち、右方向へ引っ張るとするとりと抜ける。

## 一つ結び

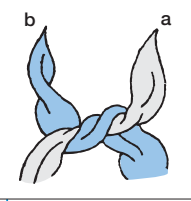


風呂敷の端で輪を作り、先端をその中に入れて引っ張れば完成。

## 真結びの結び方



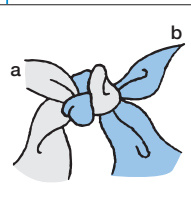
①風呂敷の先端を持って交差させる。



②上になったa(グレー)に、下のb(青)を絡ませる。



③a(グレー)先端を下に傾けて輪を作り、b(青)の先端を通す。



④aとbの先端を左右均等に引っ張り、しっかりと結べば完成。

を包んだり、風呂敷バッグを作るなど、日常生活で使いやすいのは、二四幅(90cm)や三幅(105cm)です。  
素材には、絹をはじめいろいろなありますが、普段使いをするなら、リースナブルで洗濯も簡単な綿やナイロン、ポリエステルが最適。色や柄も多彩なので、季節や用途に合わせて使い分けるといいですね。

「一つ結び」は、重い荷物を入れて長時間持ち歩いても決して解けない一方、ほどきたいときはちょっとしたコツで簡単に解ける、とても便利

## 基本の結び方を覚えよう

風呂敷を使うときの基本になるのが「真結び」と「一つ結び」です。「真結び」は、重い荷物を入れて長時間持ち歩いても決して解けない一方、ほどきたいときはちょっとしたコツで簡単に解ける、とても便利

な結び方。「一つ結び」は、布の長さを調整したり、形を整えるときに用います。  
最近、若い人の中で人気の高い風呂敷バッグも、この二つの結び方を覚えておけば簡単に作れます。基本の結び方をマスターした後は、二つの風呂敷バッグにもぜひ挑戦してみてください。

【参考資料】  
「ふるしき大研究」PHP研究所  
「初めてのふるしきレッスン」小学館